



2号  
APR. 24<sup>TH</sup>  
2018

# 電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

海から  
五月の風が  
日の丸ゆるる  
山頭火

## 地平線と水平線のおはなし

●先日、娘夫婦の引っ越しの手伝いで東京へ行った。羽田では菟石見空港からの便は空港ロビーから離れた駐機場に停止し、そこからバスに乗り換え到着ロビーに向かう。

●タラップを降りると遠くまで見渡しはいい。ひょっとしたらと思い、少し屈んで東京湾の方を眺めた。結果、海は隠れ、**地平線**があらわれた。空港は埋め立て地だが、さすが日本一の関東平野と脱帽した。

▲その平野だが、島根県にある平野の名前を新しく赴任した岩田先生に聞くが、解答は不正解。

地図に記載される数は2つ。さて、なに平野となに平野だろう。わかった人は高橋まで

●帰宅しさっそく、地平線までの距離を計算してみた。

地球の半径はおおよそ6400km      私が屈んだ目の高さが1mとして

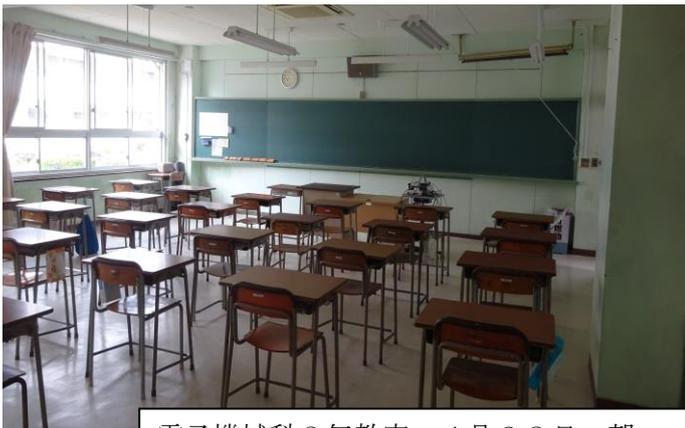
計算してみると大体4Km先が地平線の位置になった。意外と近い。

(考え方は自由、生徒のみなさんにも計算ができるはず)

●さて、私が小学校時代の子供の日は町内会でバスを貸し切り、持石海岸で運動会。当時は、いまの国道191号もイズミもジュンテンドウもなくあのあたりは砂浜。旧道の幡龍湖(競馬場)入口バス停(かまて釣り具店付近)からは松林で、そこからか先は海岸線まで500m位は砂浜。鳥取砂丘までとはいかないが、小さいわたしにとってとても大きな砂浜(丘)に感じられた。

●おやじが**水平線**を眺め、「地球の丸みがわかるか?」と私に問いかけた。5月5日、そんな思い出がわたしにはある。

### 赤字は指導方針      黒字は生徒のみなさんに実行して欲しいこと



電子機械科3年教室 4月23日 朝

#### ●時を守り・場を清め・礼を正す●

■新学期になり朝、時間があれば1年から3年の教室を開けてまわる。さすが3年生。机の上には物がなく、机の列はほぼ真っ直ぐ、椅子は机の中。誰もいない教室(場)はきれい。

●この三つの言葉は森信三先生(明治29年生まれ)が「学校職場再建の3大原理」で提唱した言葉。

**人間形成、人づくりのための120年前のキャッチコピー。**意味することはいまも変わらない。

●さて、我々の場、それは教室。【場を清め】=掃除すること。いろんなことに気づく人になり、心を磨くことができるにつながるとある。私たち教員も含め実行していきたい。